

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4-(3)	運営推進会議へのグループホーム利用者家族の参加が盛んではない。また、「アップル会議」と名付けて親しみのある雰囲気を感じられるが、行政を含めた地域との交流が少ないので、さまざまな意見をサービス向上に活かすには充分ではない。	運営推進会議に、より多くのグループホーム利用者家族に参加いただく。内部だけではなく、地域の防災の為に、行政を含めた広域で参加を促し、地域のさまざまな意見や関係向上に繋げていく。	利用者家族の参加については、案内文の発送だけではなく、積極的に口頭でお誘いしていただけるように、職員同士でも共有して準備をしていく。地域の参加については、地域の実情を行事を通じて把握し、災害時の助け合いになれるように、消防団や警察など各種機関の方にも参加していただけるようにする。	1年
2	35-(13)	利用者を含めた避難訓練はしているが、訓練の際、災害想定が毎回同じ条件である。内部だけの避難訓練になっているので、今後は地域の方々とも関わりながら、災害時の協力体制を考えていく。	災害の想定を広い視野で考え、今後は防災の拠点になっていくことも想定して、地域の方々とも関係を築いていく。	内部の避難訓練では、いろいろな災害を想定して訓練を行って行くようにする。冬期間の避難経路の確認をしておく。運営推進会議を通じて、地域の方々にも呼び掛けたり、消防団にも入ってもらいながら、災害時の助け合いになるように、協力体制をとっていく。	1年
3					
4					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。